



広 報

ひがしゆり

平成4年11月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

1992 11

No.452



★主な内容

- 平成4年町功労者.....2
- 道の駅建設予定地決まる.....3
- 全天候型多目的運動広場.....4
- 矢走林道が開通.....5
- 国保.....6～7
- 卓球・元世界チャンピオンと交流.....8～9
- 火災予防運動.....10
- まちのたからものほか.....11
- トピックス.....12～13
- みんなの広場.....14～15
- 郷土の野草ほか.....16

わあー おいしそう
さわやかな秋空のもと、紅葉を見ながらなべっこ遠足——高瀬小学校では十月十二日、全校なべっこ遠足を八塩いこいの森で行いました。ネギを切る人、味付けをする人、まきを集めて火を燃やす人と、なれない手つきで一生懸命作っていました。
みんなで協力して、ついに完成。カレーライス、とん汁、煮込みうどんなどメニューもさまざま。なべのふたを開けて「うあー おいしそう」と大喚声。
秋の一日を思う存分楽しんでいました。

平成4年町功労者に4氏

平成4年町功労者に前町長の畠山亮二郎氏（袖山出身・秋田市在住）、元町議会議長の小松豊氏（高戸屋）、前選挙管理委員長の工藤武雄氏（山崎）、東京農工大学教授の遠藤章氏（小倉出身・東京都在住）の4氏が、同自治功労者に前町議会議長の小野要造氏（下小路）、元町議会議長の小松豊氏（高戸屋）の2氏にそれぞれ決定しました。

町功労者の4氏は10月8日に開かれた表彰者選考委員会で選ばれたもので、表彰式は10月28日関係者100人が出席し、有鄰館で行われました。



畠山亮二郎氏
秋田市泉字上の町91
(65歳)

町発展に多大な功績

畠山氏は昭和五十八年東由利町長に就任以来、二期八年にわたり町政を担当、男子型企業誘致をはじめ、特別養護老人ホーム、健康増進センター、勤

労者野球場などを建設、町発展のため数多くの功績を残しました。

また外においては本荘由利広域市町村圏組合議会議長など各種団体の要職を歴任され、地方自治の進展に寄与されました。



小松 豊氏
田代字高戸屋7
(79歳)

三六年間議会議員の要職

小松氏は昭和三十一年東由利村議会議員に当選し以来連続九期三十六年間議会議員の職にあり、総務常任委員長、教育民生常任委員長、建設常任委員長、

副議長、議長の要職を歴任されました。

また、農業委員、農業協同組合理事、商工会理事に在任し、農業施策の充実、商工業振興にも尽力されるなど町政の伸長発展に功績を残されました。



工藤 武雄氏
館合字山崎12
(77歳)

明るい選挙の推進に尽力

工藤氏は昭和三十六年に東由利村選挙管理委員に選任され在任すること三十一一年、この間十六年にわたり委員長として選挙の明正な管理執行と明るい

選挙の推進に尽力されました。また昭和四十年に民生児童委員となり社会福祉活動に献身的に奉仕されるなど、地方自治振興に寄与されました。また銃剣道などで地域のスポーツ振興に貢献されました。



遠藤 章氏
東京都杉並区宮前
3-2-19(58歳)

世界の医学に貢献

遠藤氏は昭和三十二年東北大学農学部農芸化学科を卒業され、同年三共株式会社に入社、昭和五十四年から東京農工大学に移り、現在教授。

この間一貫して微生物を利用した新しい食品と医薬の研究に精励され、昭和四十六年に青カビから発見した心臓病の特効薬は国際的な評価を受け、世界的権威のあるウィーンラン ト賞を受賞されております。

「自治功労章」贈呈者

町三役や議会議員などを長年努められた方に贈られる「町自治功労章」が、前議会議長の小野要造氏（七十二歳・下小路）と元議会議長の小松豊氏（七十九歳・高戸屋）に決定しました。



小野 要造氏

式の席上行われ、阿部町長から二氏に

自治功労章が贈られました。

なお、表彰者選考委員は、阿部剛氏（五十九歳・蔵）、小野忠氏（六十一歳・下小屋）、遠藤兵一氏（七十二歳・小倉）、小松昌樹氏（六十九歳・八日町）、小松順之助氏（六十七歳・中通）、小松耕之助氏（六十七歳・下小路）、梅津嘉一郎氏（六十七歳・大琴）です。

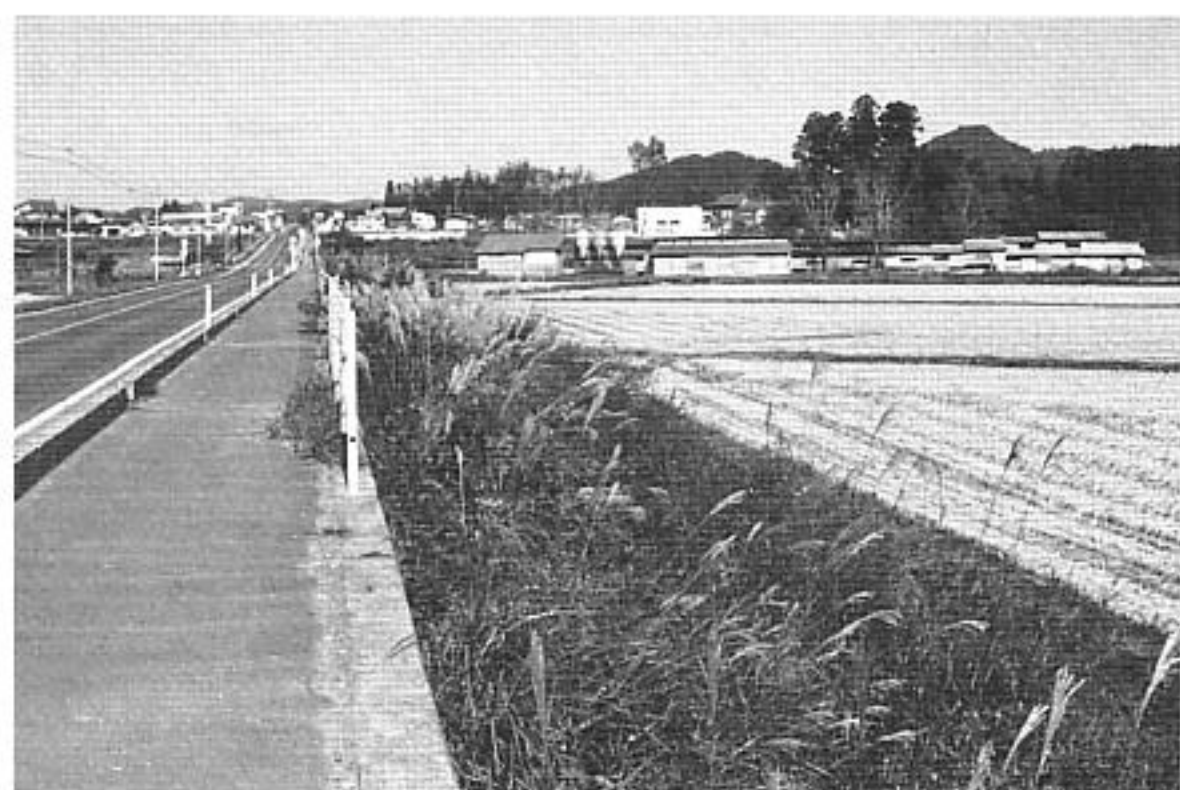
『道の駅』建設予定地決まる

車や人が行き交う「流れ機能」から休憩・駐車スペースなどの「溜まり機能」に重点をおいたのが建設省の「道の駅」構想。

全国十カ所中に本町が選ばれ、町では建設予定地を検討してきましたが、両前寺のJA東由利給油所の向かい側付近とする事にし、現在測量作業が行われています。

面積は約四反歩

建設省施工分の「道の駅」予定面積は約四十ア。この中には大型車十八台と普通車三十二台が収容できる駐車場に屋外トイレ、休憩所、緑地帯などの



「道の駅」建設予定地

施設整備が予定されています。事業規模は一億七千万円、平成四、五、六年の三カ年にわたって建設される予定です。

また、町ではこの周辺一体に、地域活性化拠点施設を整備する計画があり、ショッピングセンター、レストラン、遊具広場、親水施設などが検討されています。

教育委員長に小松順之助氏



小松順之助氏

十月一日、教育委員会が開かれ、九月三十日で任期満了により勇退された小松昌樹氏に替わる教育委員長に小松順之助氏（中通・六十七歳）が選任されました。

小松氏は、昭和二十三年県立本荘高等学校校下郷分校創設以来、二十六年の長きにわたり奉職、本町教育の充実に寄与されました。また、昭和五十三年から二年間県教育センター教育研究部長、同五十五年から五年間県立由利高等学校校長を歴任されるなど、教育一筋



に歩んでこられました。

なお、同職務代行には引き続き小松忠正氏（下通・六十九歳）が選任されました。

選管委員長に大庭喜右衛門氏



大庭喜右衛門氏

選挙管理委員会が九月二十九日役場で開かれ、選挙管理委員長に大庭喜右衛門氏（舟木・六十三歳）が選任されました。

大庭氏は昭和五十五年から選挙管理委員を勤められております。また同職務代理者には獄石文男氏（五海保・十六歳）が選任されました。

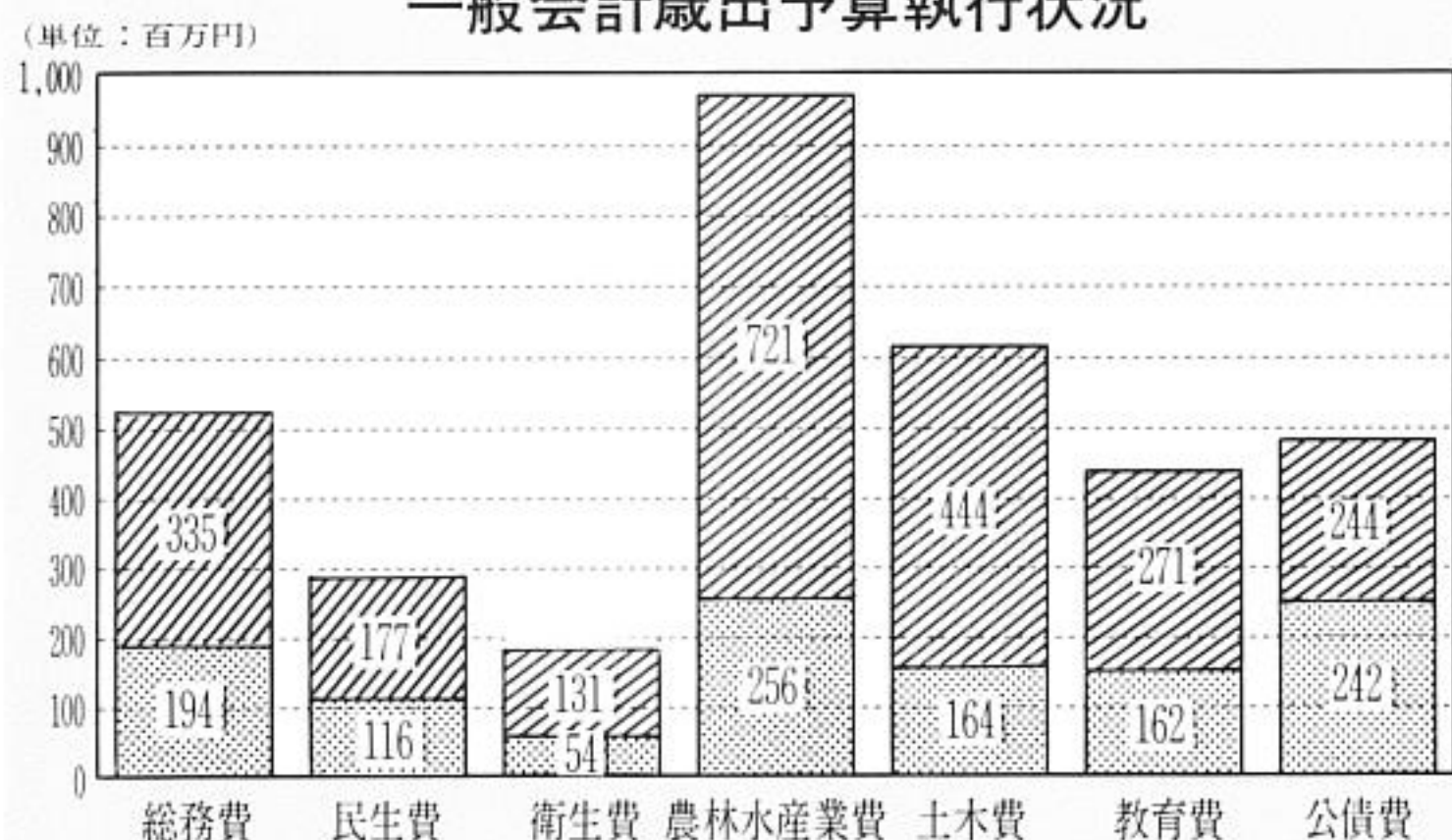
平成4年度上半期の財政状況を公表

執行率は36%

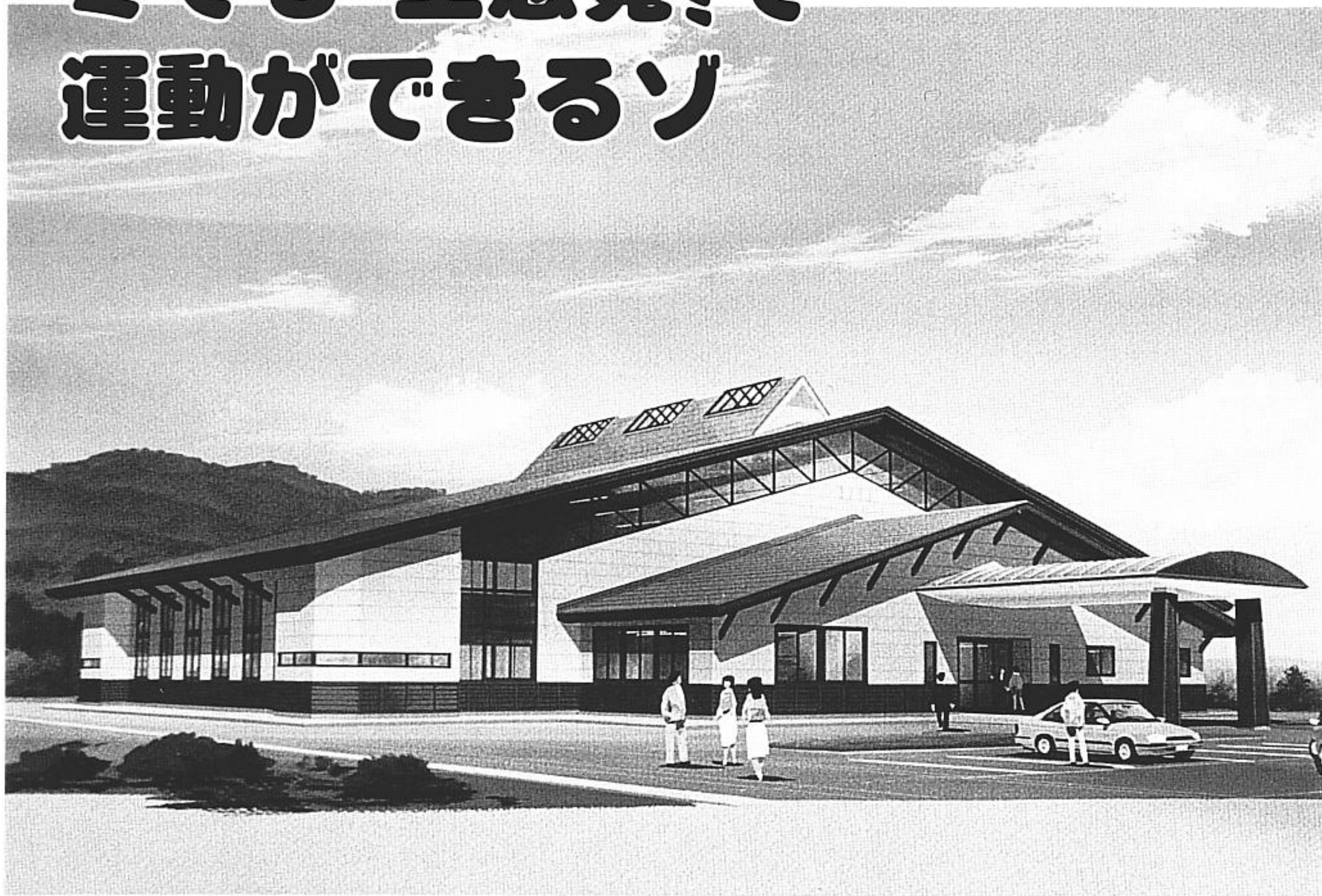
町では平成4年度上半期の財政状況を公表しました。

これによると、一般会計の歳出予算執行率は三六、一で前年同期の三三、九を二ポイント上回っています。一方町税の収入率は六七、八で前年同期の六六、七を二ポイント上回っています。歳入歳出とも順調に推移しています。主な経費の執行状況は左グラフのとおりです。

一般会計歳出予算執行状況



冬でも「土感覚」で 運動ができるゾ



東由利町全天候型多目的運動広場（屋根付）完成予想図

全天候型多目的運動広場 （屋根付）建設に着手

雪の多い本町にとって冬季間は限られたスポーツしかできず、冬でも土の上でスポーツを楽しみたい。この要望にこたえて町では、台山の勤労者野球場付近に「全天候型多目的運動広場（屋根付）」を建設する事にし九月二十八日、町関係者、工事業者ら約四十人が出席して起工式が行われ、阿部町長ら二人が鍬入れを行い、工事の安全を祈願しました。

この建物は、延べ床面積約千二百六十平方メートル、県内では珍しい砂入り人工芝で、天井までの高さは一番高いところで約十メートル。ゲートボールコートなら二面、テニスコートなら一面がとれる広さで、内部にはネットが張られ、ちょっとした野球練習も可能なほか、保育園の小運動会などもできます。

また、中には三十二畳の休憩室、ステージなどが整備されます。

総工事費は約二億六百万円。来年五月末の完成、六月のオープンを目指しています。



起工式で鍬入れをする阿部町長

林業振興に大きな期待

矢走林道(本町十二ノ前・大森町坂部間)が開通

本町十二ノ前から大内町を通り大森町坂部に通じる「民有林林道矢走線」が完成し、十月十五日に大森町坂部で開通式が、本町有鄰館で完工式が行われました。

午前十時から行われた開通式には、県、三町の関係者約百人が出席、神事の後、県林務部村上次長、大森町阿部の

町長、大内町佐々木町長、本町阿部町長らがテープカットを行いました。その後乗用車やバス約三十台が「走り初め」を行いました。

本町有鄰館で行われた完工式では、三町を代表して阿部幸悦町長が「林道矢走線は大森、大内、東由利の三町を結ぶ道路で、昭和六十年に着工し八年の歳月を経て完工することができた。今後の林業振興に大いに役立つことを期待する」とあいさつし

完工を祝いました。完成した矢走線は延長七千三百四十七

延、総事業費五億二千八百六十四万二千円。(本町分四千二百八十七延、事業費二億七千七百七十八万九千円)

出羽丘陵東南部の大内、大森、本町の三町にまたがる民有林三百八十六延、国有林三百六十一延の計七百四十七延の林



大森町坂部で行われた開通式

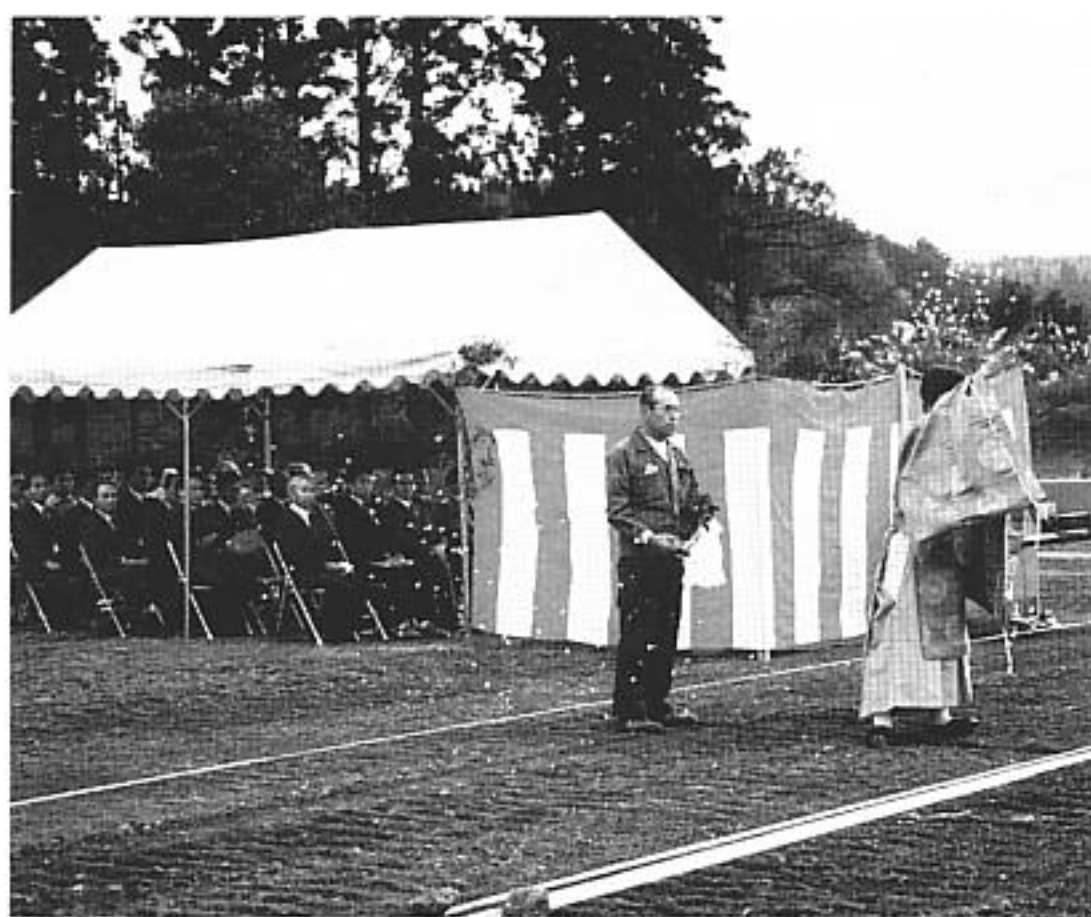
産資源の効率的な搬出と林業経営の合理化を目的としたものです。さらに観光開発、文化、生活環境の向上に重要

な役割を果たすものとして期待されています。

工事の安全を祈願した起工式

二戸一棟式住宅の立面図

町営住宅の建設はじまる



今年度は6戸を建設

今年度の目玉事業の一つである「町営住宅」の建設のため十月十九日、老方吉野の現地で起工式が行われました。

起工式には町関係者、工事業者ら約四十人が出席、阿部町長ら四人が鍬入れを行い工事の安全を祈願しました。

町営住宅は今年度、木造平屋建二棟(延床面積約九八平方延)、木造一部二階建二戸一棟式住宅二棟(延床面積約一九九平方延)の六戸分が建設されます。建物は平屋建住宅が「和風」二階建住宅が「洋風」となっており、特

に二階建住宅二戸には「子供を見ながら調理ができる」ように台所から居間を見える窓がついています。なお、この住宅は国の補助事業で建築するため、「所得」などの入居条件があります。

工期は来年三月二十日まで、浄化槽装置を含む建築費は約一億円です。町では、年度内に入居者をとりまとめ、来年度からは入居できるようにする計画です。

また、この住宅用地の総面積は全部で二、三延あり、来年度以降、需要の動向をみながら建設を促進し、全体で二十五戸程度の住宅団地にしたい考えです。

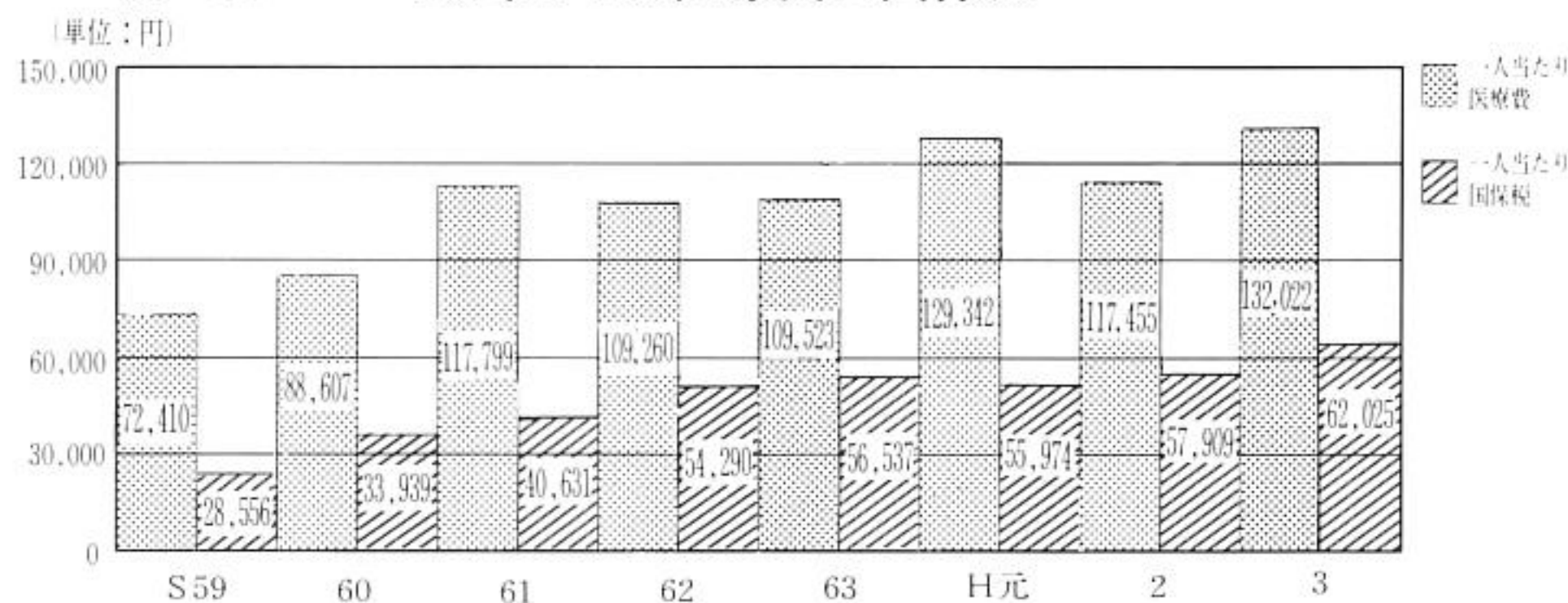
国保

医療費が上がれば 国保税も上がる!?

日常の暮らしと健康づくりを支えている国民健康保険制度は、国や県の補助金と国民健康保険税を主な財源にして運営されています。その中国保税は、医療費をもとにして計算されています。

医療費とは？ 国保税とは？この関係について考えてみましょう。

〈表①〉 一人当たりの医療費と国保税



医療費を大切に

病気やケガなどで通院又は入院したときに支払われる経費を「医療費」と言います。国保の場合、通常その三割が自己負担、残りの七割が保険制度で支払われています。

表①を見てみると、本町の一人当たりの医療費は昭和五十九年度から六十一年度までは急激に増加したものの、その後はおおむね安定の傾向にあります。人口構造の高齢化や長期治療の必要な方の増加など医療費が増える要素はあるものの、一人一人が上手な受診を心掛け、医療費を大切に“という意識を持つことが大切です。

国保税は引き下げ傾向

一方国保税はその年に予想される医療費の総額から国の補助金と病院で支払う一部負担金を差し引いた分を、平等割、均等割、所得割、資産割の四つの要素に振り分けられ一世帯ごとの税

額が決められる仕組みになっています。一人当たりの国保税(表①)も医療費が安定傾向にある昭和六十二年度

ムダな医療費をなくそう

このように国保税の額は医療費によって決まってくるわけで、医療費が増えると国保税も高くなります。窓口で支払う一部負担金も上がり、国保税も上がるといことになる、負担をま

からは、税率の据え置きが続き、平成四年度は税率を引き下げることができました。すまず大きくしてしまします。そこで、日頃から健康づくりを心がけたり、ムダな医療費を無くすよう心がけましょう。

健康イクリに励もう!!

☆1人ひとりが上手な受診の心がけを!

上 午 午 受 診 を !!

- (重) 複受診・ハシゴ受診はやめよう
- (時) 間外や休日の受診はなるべく避けよう
- (薬) ねだりはやめよう
- (医) 師を信頼し、指示を守ろう
- (定) 期的に健康診断を受け、病気の早期発見 早期治療の心がけを
- (家) 庭医を持とう
- (家) 族ぐるみで積極的に健康づくりを
- (初) 診のときは保険証を忘れずに

基本検診結果 まとめました

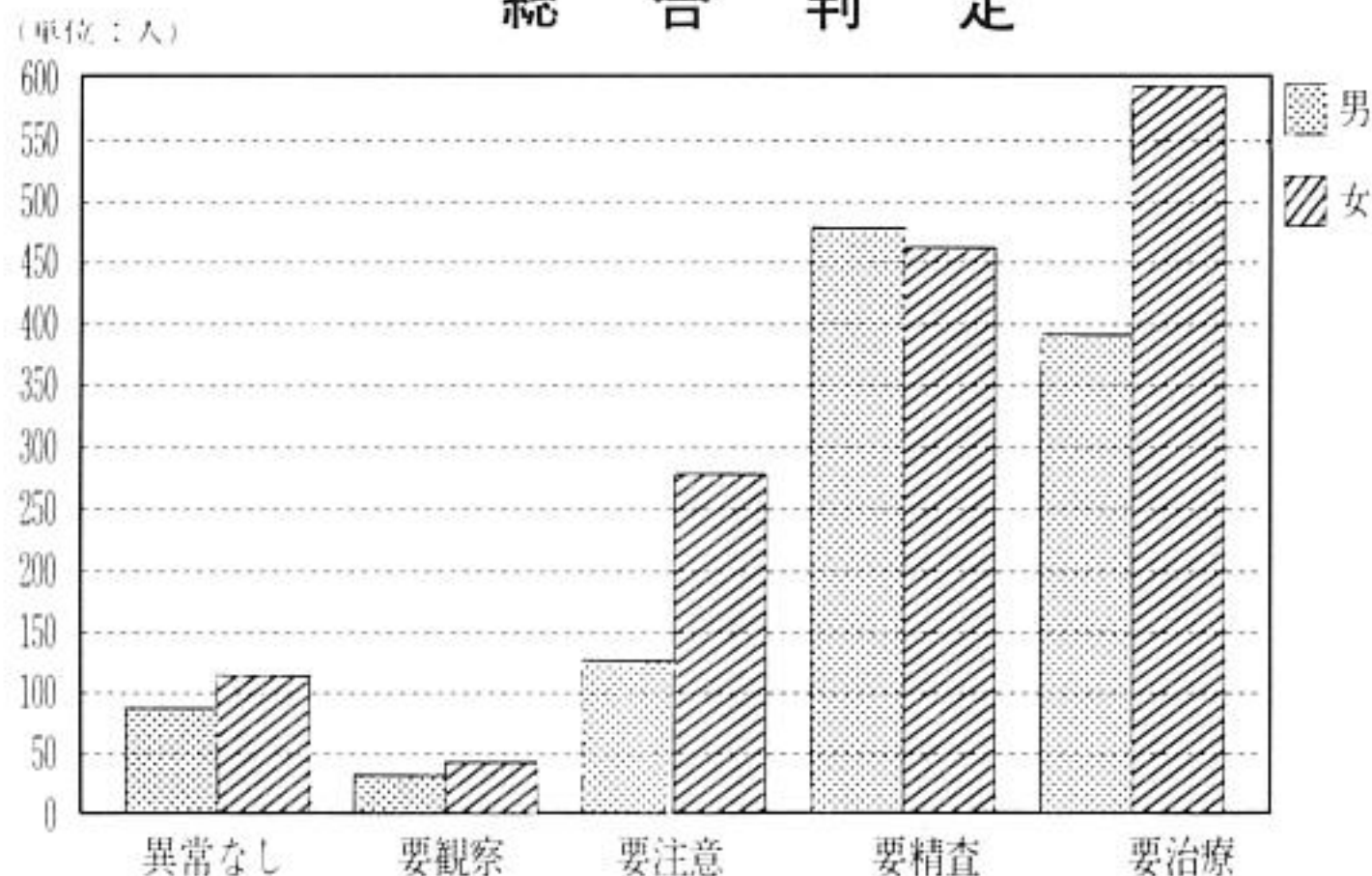
七月と八月実施の基本検診を受診された方は、対象者二、八五六人中二、五〇七人で受診率は八七・八％でした。検査内容は身体計測（身長、体重）をはじめとして、検尿（糖、蛋白、潜血）や保健婦の問診、血圧測定のほか貧血、脂質、肝機能、血糖値等の血液検査や心電図、眼底検査、

医師の理学的検査（聴打診）などです。

「要精査」と「要治療」 で全体の八八％

各種検査項目を含めて、全体の総合判定が「異常なし」の人は、男八九人、女一〇七人の計一九六人（九・一％）と一割にも満たない状況です。血圧や心電図、血糖値や脂質検査、貧血検査などで問題があり、再度精密検査を要する人が男四七三人、女四五三人の計九二六人（四二・九％）で、何らかの治療を要する人が男三九二人、女五九一人の計九八三人（四五・六％）で要精査者と要治療者を合わせると全体の八八・五％も占めております。

総合判定



長年の生活習慣を見直そう

男女別をみると、肝機能、血糖値、中性脂肪は男の方に、貧血、総コレステロール、肥満は女の方に要精査者数の割合が高くなっています。

アルコール類や間食のとりすぎ、食生活のアンバランスや運動不足など、日常生活習慣の積み重ねが一人一人の検診結果に如実に現れております。特

に働き盛りの年齢でこれまで自分の健康に自信のある方は自覚症状のないことをいいことに、つい病院に行きそびれることが多いようです。検診結果が「要精査」や「要治療」の人はもちろん、「異常なし」の人も長年の生活習慣を見直し、意識的に生活を変える努力を今すぐ始めたいものです。

献血ありがとうございました

九月二十八日、本町に献血車が来町し町内六カ所で献血が行われ、六十七人の方々から協力をいただきました。ありがとうございました。（敬称略）

秋田ルビコン(株)での献血風景



小野 浩市	畠山 忠志	伊東 健市
小松 信記	三浦 雅弘	阿部恵美子
工藤 昭義	嶽石 文弥	小松 修一
小松 和子	遠藤 晃	小松 健
石渡 博澄	高橋 孝紀	佐藤 洋子
石渡 洋子	遠藤 卓哉	小野 實
畑山美喜子	長谷山節男	遠藤 雅晴
小松 鈴子	遠藤 直志	大庭満寿子
畠山 紀悦	畠山 伸	佐藤 芳雄
遠藤 武	茂木 好春	佐藤 稔
高橋由喜江	小野 博子	長谷山雅子
畑山千江子	佐藤富美子	八嶋 俊子
阿部志保子	菊地美貴子	石橋万里子
鈴木富士子	遠藤久美子	柿崎 松美
畑山 豊隆	横山 昌喜	嶽石 愛子
小松俊太郎	出原 和恵	遠藤 淳子
阿部 正輝	高橋 義和	佐藤 直人
藤田 隆史	(太字は四百cc献血者)	

猪股 友子	木島 洋子	小野 里子
田代 一広	畠山 守	佐々木 興
大場 里美	大日向睦子	木島 一広
早藤 素史	加藤 寿	小松 嘉和
大庭 司	阿部 等	安東 純子

松崎キミ代さん(卓球元世界チャンピオン)と深い交流

町体育協会が創立して今年で二十年。これを記念して十月十日の体育の日に、午前中は町内外から約三百人が参加して卓球元世界チャンピオンを招いての「レッツプレイ卓球」、午後からは約八十人が出席して記念式典が行われました。

この一球を大切に

午前中に行われた「レッツプレイ卓球」は、卓球元世界チャンピオンの松崎キミ代さん、また平成四年度インターハイ卓球ランキング選手であり、第四十七回国民体育大会(べにばな国体)卓球少年女子団体で青森県優勝の原動力となった青森山田高校の李進さん(中国留学生)と山崎玲奈さん、監督の渡辺俊治先生を招いて行われました。選手紹介の後、李、山崎両選手の

模範試合。ハイレベルの試合に参観者の表情も真剣そのもの。特に小中学生達は普段から卓球に親しんでいるだけに一球一球に食い入るような眼差しで観戦していました。

また小中学生が李、山崎両選手のサーブをどれだけ正確に返せるかの「チャレンジコーナー」では、子供達がサーブを返すたびに歓声が沸き上がり、子供達も大変満足そうでした。

引き続き、松崎キミ代先生に十一人の子供達と先生が普段思っていること



李さん(左)と山崎さん(右)

を質問。この中で「先生の好きな言葉を教えてください」という質問に対して松崎先生は「自分で作った言葉ですが、この一球」という言葉が好きです。最後まであきらめず、一球一球大切に練習することが大事です」と答えてくれました。

その後TDK卓球部の協力を得て、六台の卓球台を使って小中学生を対象に「卓球教室」が行われました。普段とは一味違った練習のかたに少々戸惑い顔の子供達も松崎先生の指導を受け「卓球の楽しさ」を満喫していました。

最後に松崎先生から「病弱だった私も強くなりたい一心で頑張った。私ができるのだから皆さんも絶対できるはず。頑張ってください」と力

大にぎわいだった「チャレンジコーナー」



国体選手がハイレベルの模範試合

強いメッセージをいただき、子供達は決意を新たにしている様子でした。



卓球元世界チャンピオンの松崎キミ代さん

松崎先生の指導を受ける子供たち

やったぜ！八塩小

全県ミニバスケット大会にアベック出場



全県大会にアベック出場する八塩小

同大会に、本町から八塩小が出場。女子は二回戦で石沢小学校に四九対一六、準決勝で宿敵平沢小学校を三六対二六で下し決勝進出。決勝戦は院内小学校と対決、終始自分たちのペースで試合を行い、五三対二二で初優勝となりました。男子チームは一回戦で象潟小学校を四〇対一二、準決勝で鶴舞小学校を三二対一二で下し決勝進出。決勝戦は、前年度優勝校の平沢小学校

十月三日、四日の両日、本荘市の鶴舞小学校体育館で本荘市由利郡小学校バスケットボール大会が行われ、八塩小学校女子チームが優勝、同校男子チームが準優勝で創立以来初めての全県大会アベック出場となりました。同小女子チームは念願の初優勝で二年連続の県大会出場、男子チームは三回目の優勝こそ逃したものの、昭和六十三年度以来の五回目の県大会出場となりました。

大琴小卓球クラブ三位入賞

十月三日、本荘市の南内越コミュニティ体育館で第十八回本荘市由利郡小学校卓球大会が行われました。

本町からは大琴小と高瀬小が出場。大会では男子シングルスで大琴小六年の大庭幸人君が、女子シングルスで同校六年の阿部由美子さんがそれぞれ準優勝、団体で同校女子Bチームが三位に入る健闘をみせました。

八塩小学校は、今年創立十周年、それに花を添える県大会アベック出場。念願の「県大会一勝」に向けて休日返上で練習しており、大会での活躍が期待されます。

と対決し白熱したシーソーゲームを展開。試合終了三〇秒前に三五対三五、そこでフリースローを決められ、三六対三五で惜敗しました。

20周年の節目を喜び合う

午後一時三十分から行われた記念式典



約80人が出席した記念式典

典には協会員ら約八十人が出席。最初は大沼武且体育協会会長が「二十周年を迎えることができうれしく思います。人間形成の上で必要不可欠な体育振興を計画的に進め、明るく元気の出る町の一助にしたいと考えています。今後ともより一層のご指導、ご協力をお願いいたします」と式辞を述べました。引き続き、体育協会の初代会長と初代会長に特別功労賞が、体育協会や各単位協会で著しい功績のあった三氏に功労賞が贈られました。その後、阿部町長ら四人が祝辞を述べ式典を終わりました。

祝賀会では、会員たちがこれまでの苦労話や今後の抱負などを心ゆくまで語り合い、二十周年の節目を喜び合っていました。

《被表彰者（敬称略）》

・特別功労賞

小松 榮男（体育協会初代会長）

阿部 幸悦（体育協会初代副会長）

・功労賞

小松 忠亮（野球協会初代会長）

佐々木正輝（体育協会前理事）

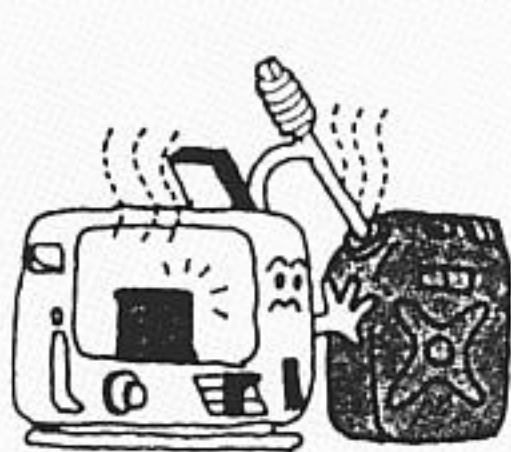
梅津 仁（スキークラブ前副会長）

5人の功労者を表彰



くらしの中の危険物

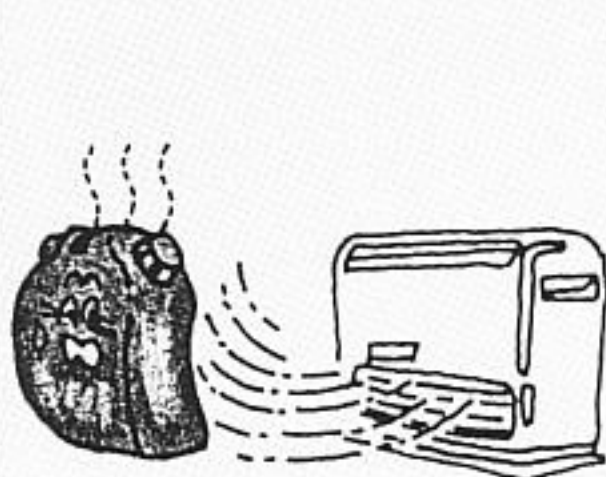
……こんなことしていませんか……



火を付けたままの給油



カートリッジタンク
ふたのゆるみ



ファンヒーターの前
など高温となる場所



キャップをしないでの
保管

住宅防火は安心の原点です



住宅火災の場合、どんな部屋から火が出ることが多いの？

出火場所を部屋別でみると居間、台所、浴室、押入・納戸の順になっています。最も多い居間では、タバコの火の不始末や暖房器具などの消し忘れなどが主な原因ですね。

どんな人たちが火事で亡くなっているのかしら？



住宅火災では、5歳以下の乳幼児と、61歳以上の高齢者が焼死者の半数以上を占めています。一人では逃げられない幼い子どもたちや、お年寄り、身体の不自由な人たちが火災の犠牲者になりやすいわけです。

11月1日から11月7日は
秋の火災予防運動

明日のあなたを考えて… 年金はあなたが主人公



明日を支える国民年金制度

わが国はいま、急速に高齢化が進んでいます。言い換えれば、「老後の時間の長い社会」になりつつあるということです。その老後を実り豊かなものにするためには、生活そのものが安定していることが必要です。そのために大きな役割を担っているのが国民年金制度です。また、国民年金は、思わぬケガや病気で障害者になったときや、一家の働き手を亡くしたときなどに年金を支給し、経済的なバックアップをすることも目的としています。国民年金は、被保険者（現役の世代）が受給者（かつての現役世代）を助け、その現役の世代が年をとったときなどに、その次の世代が支えていく——というように世代と世代の助け合いで成り立っている制度なのです。

国民年金に加入する人

国民年金に必ず加入しなければならない人（強制加入者）は、日本国内に住所のある20歳以上60歳未満の人です。平成3年4月1日からは今まで加入しない人は任意だった学

生も、20歳になったらすべて加入しなければならなくなりました。保険料を納める方法の違いによって、次の3種類に分かれます。

第1号被保険者

20歳以上60歳未満で、学生及び農業・漁業・商業などの自営業や自由業の人とその家族（厚生年金や共済組合に加入していない）



第3号被保険者

厚生年金保険（船員保険）の被保険者や共済組合員に扶養されている配偶者で、20歳以上60歳未満の人。



第2号被保険者

現役のサラリーマンなど厚生年金保険（船員保険）の被保険者本人や共済組合の組合員。



希望で加入する人（任意加入者）

●日本国内に住所のある60歳以上65歳未満の人
●日本国内に住所のない20歳以上65歳未満の人

●日本国内に住所がある60歳未満の人で、厚生年金などの被用者年金制度から老齢年金または退職年金を受けられる人など、強制加入の範囲から除かれている人

ことぶき大学だより

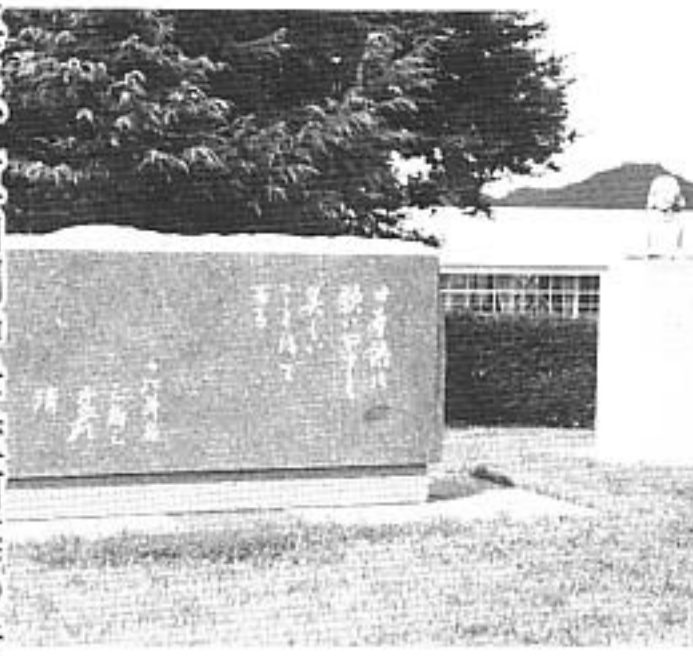


会第三寿合
館合 渡辺 要一さん
(64歳)

秋雨が多くなるにつれて紅葉の深まって行く季節となり今年も数えるほどと

まちのなかからもの⑥

小松音楽兄弟顕彰碑



東中前の顕彰碑

写真は、東由利中学校前庭の音楽家として全国的に名を成した、館合出身の小松耕輔・三樹三・平五郎・清兄弟の音楽顕彰碑です。

碑は縦一石・横二・五石・厚さ六十センチ、重さ八ト、スエーデン産の赤大理石で、音楽兄弟の顕彰にふさわしく、ピアノの鍵盤を表わす白と黒のみ影石の台座にのせています。碑文は、耕輔氏著作「音楽の花開く頃」の巻末文を簡約した「日本語は歌いやすく美しいことばである」で、昭和五十三年十月建立。

保健婦のヘルシートーク

お酒と上手に付き合ってますか

昔から「酒は百薬の長」と言われ、飲めば楽しく、ストレスを解消し、胃液の分泌を促して食欲を増し、健康に良いというメリットをもっています。ただし、適量をわきまえてこそその薬度を越せば毒になることを心得たいものです。お酒を飲むとそのごく一部が、息や汗、尿中に排出され、残り大部分が肝臓に運ばれていきます。

なりました。私も第三寿会に加入してから早くも二年数カ月になり、何も分からぬまま今まで過ぎて来ました。私が加入したときは前会長も高齢になり会長の任務はなかなか容易でなくこのままでは会が壊滅してしまう状態だということに相談に応じてくれたことでした。会長だけは辞退したいと思っていました。が、もしこの会が崩れたら地元の人達は何の楽しみもない生

活になると思い、決意せざるを得ませんでした。会長会議などに出席すると私が一番若いし、会員のほとんどの方が七十歳以上の先輩ということで、若い会員を増やしたいと思い、何人か誘って会員になってもらいました。会員のほとんどが「集まって活動すること何より楽しい」と言ってくれます。皆でこの会を盛り上げこれからの人生を明るく過ごして行きたいと思っています。

肝臓は、一家を支える父親のようにタフで我慢強く、少しばかり異常があっても弱音を吐かず「沈黙の臓器」と言われるほどギリギリまで働き続けます。ですからお酒を飲めば飲んだ量に比例して肝臓にとってはハードワークとなります。肝臓のアルコール処理能力からみて、日本酒なら一合が適量とされています。四十歳を過ぎたらだれもが肝臓危険年齢。日頃から肝臓をいたわる生活の工夫が大切です。

(保健婦 伊東志津子)

高齢化社会の生きがいフォーラム

町と町社会福祉協議会では十一月十一日、健康増進センターで「高齢化社会の生きがいフォーラム」を開催します。当日は午前九時から受付、十時十分から「生き活きとした高齢者と地域づくり」をテーマにシンポジウムを開催、コーディネーターに秋田魁新報社

論説委員の佐藤達夫氏、パネリストに秋田県福祉保健部長の谷口隆氏らを招いて行われます。午後からは日本漫才協団理事長の青空一夜さん(漫才師)

が「人ふれあい芸の道」と題して記念講演します。多数の方々の参加をお待ちしています。

日程

9:00	受付
10:00	開会式
10:10	オリエンテーション
12:20	シンポジウム
13:00	昼食(休憩)
13:40	大会式典
14:00	休憩
15:30	記念講演

青年会が親子映画会を開催

連合青年会では十一月十四日、有鄰館で午後一時三十分～四時二十分と六時～八時五十分の二回にわたり「親子映画会」を開催します。

上映される映画は、「タルーとくん」「ドラゴンボールZ」「紅の豚」の三本。入場料は中学生以下が千二百円(割引券持参の場合八百円)、高校生以上が千五百円(割引券持参の場合千円)。割引券は小中学校や町内の商店で扱っています。

この映画会を企画した連合青年会の小野進会長は「感動する映画を見て、親子の触れ合いの機会にしてほしい」と話しています。



特別割引券

119番の日

11月9日



トピックス

あんなこと～まちのわだい～こんなこと



大きなイモがいっぱい

十月十二日、大琴小学校の学校農園で全校生徒参加の「さつまいも掘り」が行われました。学校農園の広さは約二百五十平方メートル、PTAなどの協力を得て土壌改良などを行い、五月二十二日に「紅あずま」五百本を植えました。

この日は教頭先生から「みんなで仲良く、イモを折らないようにして楽しいイモ掘りにしましょう」とあいさつがあった後、一年生から六年生まで一斉「いも掘り」開始。畑の中は大にぎわい、大きなイモを見つけると友達と比べたり、先生に自慢したり、収穫の楽しさを満喫していました。

今年は大きなイモの多いのが特徴で、天候に恵まれた事もあり味もよく、収穫量も去年の二倍近くになりました。収穫されたイモの内十七割は東光苑に、残りは「焼きイモ」や給食で食べることにしました。



大きなイモがたくさん

「小松音楽兄弟」の足跡を一冊の本に

本町出身で日本で初めてオペラ作曲、音楽教育の父ともうたわれた小松耕輔先生ら四人の音楽兄弟の足跡をまとめた「小松音楽兄弟」の本が発行されました。

同書を編集したのは、郷土史研究家で本荘市在住の高野喜代一さん。高野さんはこれまで四兄弟の事を何度か編集していましたが、資料不足のためごくあつさりとした記述にとどめていました。昨春、友人からの勧めもあって本を書くことを決意、その後東京の古書店などを回って資料収集を行い一冊の本にまとめたものです。「余計な思い入れで事実をわい曲したくなかった」と四兄弟の足跡をそのまま編集しています。

同書は一部八千円。購入希望やお問い合わせは公民館（☎六九一・三三二）まで。



「小松音楽兄弟」の本

お年寄りの喜ぶ顔が見たくて

日本看護協会秋田県支部本荘由利地区支部（小島カネエ支部長、会員三百七十名）が九月三十日、特別養護老人ホーム東光苑を訪れ、タオルなどを寄贈、また入居者の方々の血圧測定や爪きりなどのボランティアを行いました。これは保健婦、助産婦、看護婦などで組織されている同支部が「施設の方々と触れ合い、少しでも役に立てば」と地区内の施設を訪問しているものです。

当日は二十二名の会員が参加し、午後一時三十分、東光苑に到着。職員から施設の概要などの説明を受けた後、会員が実施している「タオル一本運動」によるタオルや石鹸など約四百の品物が寄贈されました。その後、会員たちは血圧測定、爪きり、お年寄りの話相手などのボランティアを一時実施しました。このボランティアに参加している会員は「職業柄いろいろな患者さんと接しているが、施設の方々と触れ合う機会がなく、大変勉強になります。お年寄りの方々が喜んでくれると自分たちもうれしくて」と話してくれました。



タオルなど400の品物を寄贈

チャレンジ精神で頑張る

秋田ルビコン陸上部

第三十二回奥羽横断駅伝競争大会が十月十七日、十八日の両日行われ、本荘市から本町を通り岩手県北上市までの百二十四キロで健脚を競いました。

本町からは秋田ルビコン陸上部が出場し全国レベルの選手に混じって力走、目標の八時間にはわずかに及ばなかったものの健闘をみせました。特に本町に設けられたJ A東由利大琴支所前と同玉支所前の中継点では小学生が大声援を送っていました。

同部では年間約十回の大会に出場、特にこの駅伝は地元を通ることもあり交替勤務の中、懸命の練習を行いました。六区を走った遠藤正悦さんは「今回で二回目の出場になるがチャレンジ精神で頑張った。今大会での一番の収穫は全国レベルの選手からの技術の取得ができたこと。そして何よりも町民の方々の応援に感謝したい」と話してくれました。



力走する秋田ルビコン選手(左)

生の演奏に満足



普段は聞けないプロの演奏

すぐれた芸術を直接鑑賞していただき、美しい人間関係の一助にしたい」と文化庁、県、町が共同で行っている青少年劇場のために「東京チェンバーアンサンブル」一行が十月二日、健康増進センターで演奏会を行いました。一行は九月二十八日から県内小中学校で演奏会を行い、本町で最後の演奏会を行ったものです。

当日は町内各小中学校、下郷分校の児童生徒など約四百八十人が出席、楽器の話を変えながら「オーボエ四重奏曲へ長調K370」や日本民謡の「八木節」など十曲余りを演奏しました。また、県内最後の演奏ということもあり「アンコール」に二回も応えてくれました。

参加した子供たちは「生の演奏を聞いてよかった」、先生方は「自分たちが子供のころこのような機会がなかったので、子供たちに聞かせることができてうれしい」と話してくれました。

一、二年生が コイを放流

高瀬川漁族保護組合（小松順之助組合長）では「子供たちに川の大切さと魚に親しんでもらおう」と毎年秋に小学校一、二年生を対象にコイの放流を行っています。

今年十月十九日、八塩小学校と高瀬小学校の一、二年生がコイ百七十尾を高瀬川に放流しました。生きている魚に触れるのは初めてという子供たちもあり、河川敷は大にぎわい。大きな魚を見つけると先生に「大きいでしょう」と自慢する子供も見られました。

同組合では「今後も子供たちに魚を放流してもらい、川に親しんでもらいたい」と話していました。

高瀬川にコイを放流



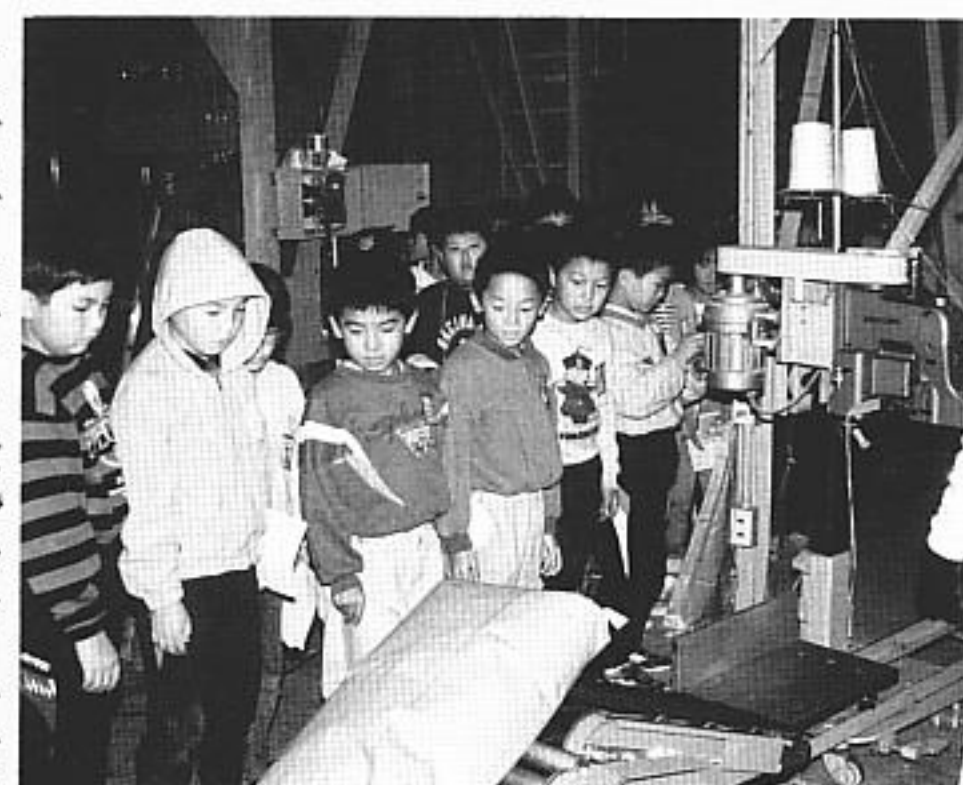
子供たちが 自然学習

家の方々がモミを持って来てから玄米にして出荷するまでの作業工程を学習、興味深そうに施設内を見回したり、メモをとる子供もみられました。見学後は「ここにある米は何人分あるのですか」「ライスセンターなのにどうして夏は野菜を売っているのですか」などの「素朴な疑問」に関係者が返答に困ることも見られました。

町では「感性の豊かな小学校時代に農業のすばらしさを伝えたい」としており、今後も継続的に行う考えです。

三年生は施設見学

十月二十日、小学三年生六十七人が町内の農業施設の見学を行いました。この学習会は町が「農業と触れ合い、そこで働く人々の姿を通して郷土愛を育む」ことをねらいに行われたもので、ライスセンター、バラ栽培ハウス（佐々木精人さん・大琴）、町実験農場の三カ所を見学しました。



ライスセンターでの見学

フレッシュ リレー

遠藤 正人さん(19歳)

宿・西山製作所(雄物川町)勤務

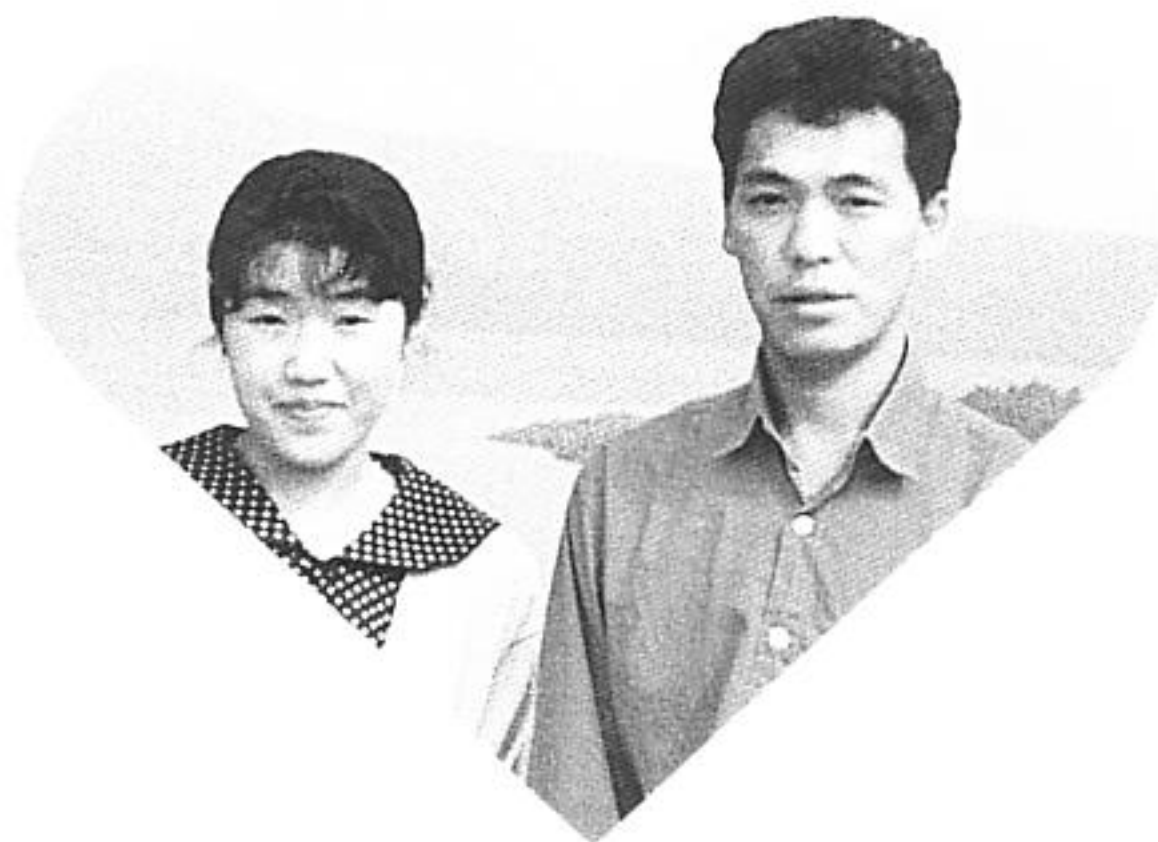


二交替で「自動車に使われるパイプ」を作っている正人さん。さわやかな好青年にいろいろインタビュー。
☆初めての「仕事」の感想は「学生の頃と一番違うのは「責任を持つ」という事だと思っています。一つの機械をまかされているので、やり甲斐もあるけど、不良品を出したりすると大変です。二交替できつかったけど、今はだいふ慣れたし、人間関係も

良く楽しい毎日を過ごしています。
☆趣味は友達とフラットとドライブに行くことです。
☆わが町はどんな町? 緑が多く、道も良くなってきたて住みやすい町だと思います。
☆好きな女性のタイプは 何でも気軽に話せる人が好きです。
☆自己PRをどうぞ 普段はのんびりでボーっとしています。休みの日は友達と遊んで過ごしています。特に今年は五年ぶりにスキーを始めてみようかと思っています。
☆次の人は誰ですか 同級生の高橋勝敏君。次は君の番です。

新婚さん こんにちは

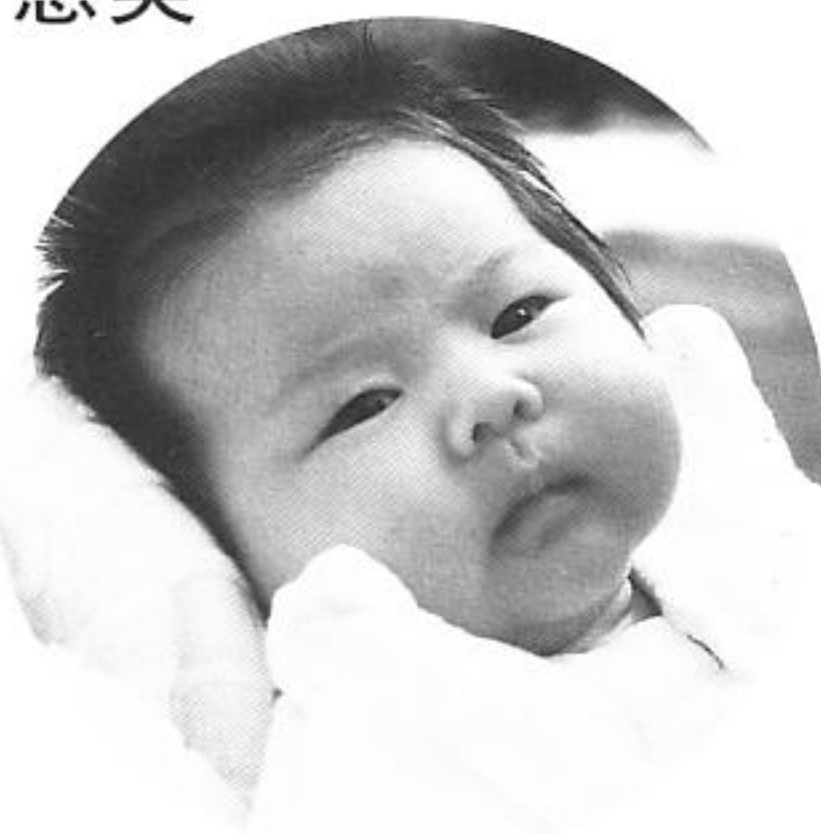
根田 和 春さん
真理子さん



高校時代の先輩、後輩の二人は付き合ってから7年目でゴールイン。和春さんは勤務先の秋田ルビコンで五つの運動部に所属。特に奥羽横断伝では主将を務め、活躍しました。真理子さんはスポーツを見るのが好きで、いつも和春さんを応援していたそうです。付き合っている時も「彼はスポーツ、彼女は応援」の時が多かったとか。
理想の家庭は「明るく笑顔に つつまれて、いつも普通でいられる家庭」と笑顔いっぱいの人でした。
お幸せに!

(田代 渡辺 等さん)
泰子さんご夫婦の長女

めぐみ ちゃん
恵実



わたしの
赤ちゃん

待望の子供の誕生に渡辺家は 大にぎわい。子守をする人が四人で奪い合いになることもあるそうです。おじいさん、おばあさんは孫を「だっこ」できるのが何よりの楽しみ。しみのようでした。「わんぱくでもいい、たくましくそだってほしい」とお母さんの泰子さんが話してくれました。

東由利の文芸

せせらぎ句会(文化祭協賛句会)

- ◆ 稲掛けに向き合う鳥海雲をぬぐ
- ◆ 深田刈り児を抱く畦の陽をさがす
- ◆ 峽ぬけて土豪の里や秋まつり
- ◆ 土に惚れ今日も天職稲を刈る
- ◆ 桐一葉雨戸をたたく山泊まり
- ◆ 案山子より笠を借りたるにわか雨
- ◆ 豊の秋山里も活気あり老いてまだ
- ◆ いつよりか後手に慣れ秋まつり
- ◆ 秋草を一輪摘みて心足る
- ◆ 合掌の肩に舞い散る銀杏黄葉
- ◆ 銀河濃し北へ灯して飛機行けり
- ◆ 稗を刈り減反あかるさとり戻す
- ◆ 威勢よく飛ばすピッチャー天高し
- ◆ 墨の香に和紙おちつかす十三夜
- ◆ 暮小早し鳴き交う小鳥点となる

- 佐藤 正義(湯出野)
- 鈴木 要(沼)
- 鈴木 徳蔵(舟木)
- 小松慶治郎(高戸屋)
- 高橋繁太郎(横渡)
- 小松順之助(中通)
- 菊地 常作(湯出野)
- 阿部 ナミ(蔵)
- 佐藤 テイ(蔵)
- 阿部 澄子(蔵)
- 小松 メサ(下小路)
- 小笠原涼子(蔵新田)
- 小笠原トミ(蔵新田)
- 小野 貞子(蔵新田)
- 遠藤トミ子(小倉)

ハイスクール 日記

大仏様に呆然

— 修学旅行 —

この大仏は、奈良時代に造り始められ、十数年間かかって完成されたというが、その十数年



下郷分校
2年J組
畠山由美子さん

私がこの四泊五日の修学旅行

で一番印象に残っているのは、

二日目の奈良の大仏でした。

日本一で知られている奈良の

大仏は、鎌倉の大仏と違って建

物の中に置いてあり、ふと見上

げると、大仏の大きさに思わず

ぼーっとしてしまい、見ている

場所からすぐ歩くことは出来ま

せんでした。

この大仏は、奈良時代に造り

始められ、十数年間かかって完

成されたというが、その十数年



遠藤まゆみ
さん

わたしの小さいころからの夢は、看護婦さんになることです。お年寄りや病気になった人の世話をし、助けてあげたいと思



古関 竹志
くん

ぼくの夢はすし屋になることです。その理由は二つあります。一つは東京のおじさんがすし屋をやっている、芸能人とかブ

ぼくの夢 わたしの夢

(高瀬小六年)

口野球選手とかいろいろな有名人が来店してくれることに感動したからです。二つめはすしを作る速さ、キュウリを切る速さがものすごく、ぼくもおじさんのようにじょうずになりたいなあと思ったからです。

それで、ぼくはおじさんのい

るすし屋に修業に行き、店長になる資格を取って東由利町にお店を出したいです。お店の名前は「タケシ寿司」にして、お客さんに「おいしい」と言ってもらうように、日本一のすし職人になりたいと思っています。

なってみんなに喜んでもらいたいと思います。でもいくら世話してもよくなる人はいなくて、とても悲しくなっていて看護婦って大変だなあと思います。自分もだんだん自信がなくなっていて本当にできるかなとも思っています。がんばってみようと思います。

の間にも、あごの部分が壊れたり、他のいろいろな部分にも故障があったりで、土で造った大仏に、銅を流し込む作業がとてもというか、口に表わせにくいらい大変だったと思います。

私は、東大寺の大仏殿に行ってみて、大仏の古さの重みと、その大きさは、日本一、いや、たぶん世界一のような気がします。

この修学旅行はこういった寺まわりのほかに、鈴鹿サーキット、本田技研、京都市内グループ別学習行動などで盛沢山でしたが、私には、2日目の寺まわり、特に大仏殿が素晴らしかったと思われま

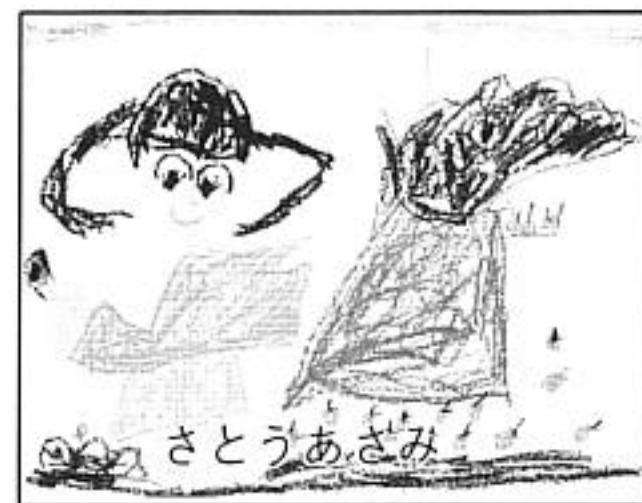


★★永慶保育園★★

後列右からあやこちゃん・新町
ゆうたくん・横渡
たかかずくん・蔵



◀前列右から ちからくん・蔵新田
あさみちゃん・中通
まいこちゃん・蔵新田



ひめりんごがり

人口 ()は前月比

■男	2,774人(1)
■女	2,916人(2)
■計	5,690人(3)
■世帯数	1,416戸(1)

()は1月からの累計

●出生	3人(34)	●死亡	4人(42)
●転入	8人(88)	●転出	4人(132)

■火災出動	0件(1)
■救急出動	7件(82)
■交通事故	0件(6)
●死者	0人(0)
●傷者	0人(8)
■飲酒運転	0人(0)
■酒気帯び	0人(3)

私の好きな



高館山から



十月はじめの高館山からの眺め。
はさがけに稲刈り前の田んぼ。
「秋だなあ」という感じ。
(撮影・広報担当)

ナワシロイチゴ

(バラ科)
文・写真 小松忠正



日当たりのよい崖や路傍などで見られるほふく性の落葉小灌木で、茎にはトゲがあります。葉は菱状倒卵形で裏に白毛があります。初夏に淡紅色の花をつけ、花後深赤色の実をつけます。食べられますが、種子が少しざらつきます。五木ひろしの歌う「ふるさと」の歌詞に「小川のせせらぎ帰りの道で、妹ととり合った赤い野莓」という一節がありますが、この歌の作詞者山口洋子さんが、このイチゴを思い浮かべて叙情豊かに創作されたのでしょう。

郷土の野草

戸籍の窓口

(9/21~10/20届出・敬称略)

●ごめい福をお祈りいたします

佐藤	ハナさん(82・アキ・夫の母)	新町
工藤	三弥さん(36・三雄・三男)	新処
小野	久兵衛さん(94・久一郎・父)	上里
伊東	テルノさん(85・栄喜・祖母)	島
林	セツノさん(84・千代蔵・母)	新町
太田	久さん(45・京子・夫)	蔵
佐々木	長次郎さん(80・長円・父)	大琴
藤丸	マツヨさん(78・隆・母)	田代
工藤	トシ子さん(64・眞市・母)	高村
木島	節造さん(79・シゲヨ・夫)	蔵新田

◆お詫び

先月号の、●お誕生おめでとう欄、渡辺恵美ちゃん、渡辺恵実ちゃんでした。訂正してお詫びします。

町民カレンダー

NOVEMBER

今月は国保税三期の納期です。
14日と28日の土曜日は役場が休みです。

17	健康大学(有鄰館)
12	フレッシュ教室(有鄰館)
11	町福祉大会及び高齢化社会生きがいフォーラム(健康増進センター)
5	保育園児いもほり

「まごころ」

町社会福祉協議会に、鎌田晴也さん(黒瀬)、佐々木長円さん(大琴)、藤丸隆さん(田代)、八塩会代表中津川俊雄さん(本莊市)、老方三区少年会長小野一さんからそれぞれ金一封のご芳志が届けられました。
ありがとうございました。

ほっといきい



十月十五日、NHKで放送された「ふるさとビデオ大賞」で本町のビデオがあらかじめ用意された六つの賞のほかに女優の浅利香津代さんから「審査員特別賞」をいただきました。撮影に協力していただいた方にとても感謝します。その番組の中で「フランス鴨」が随所にPRされた事もあり、次の日のふるさと広場では「てんやわんや」の大忙し。改めてマスコミの凄さを感じました。町のPRのため今後も積極的にマスメディアを活用していきたいと思えます。